

困難の中に、機会がある

～コロナ禍の教育活動～

令和4年1月24日（月）
大阪府立夕陽丘高等学校 校長 網代 典子

令和2年度

臨時休業から始まる

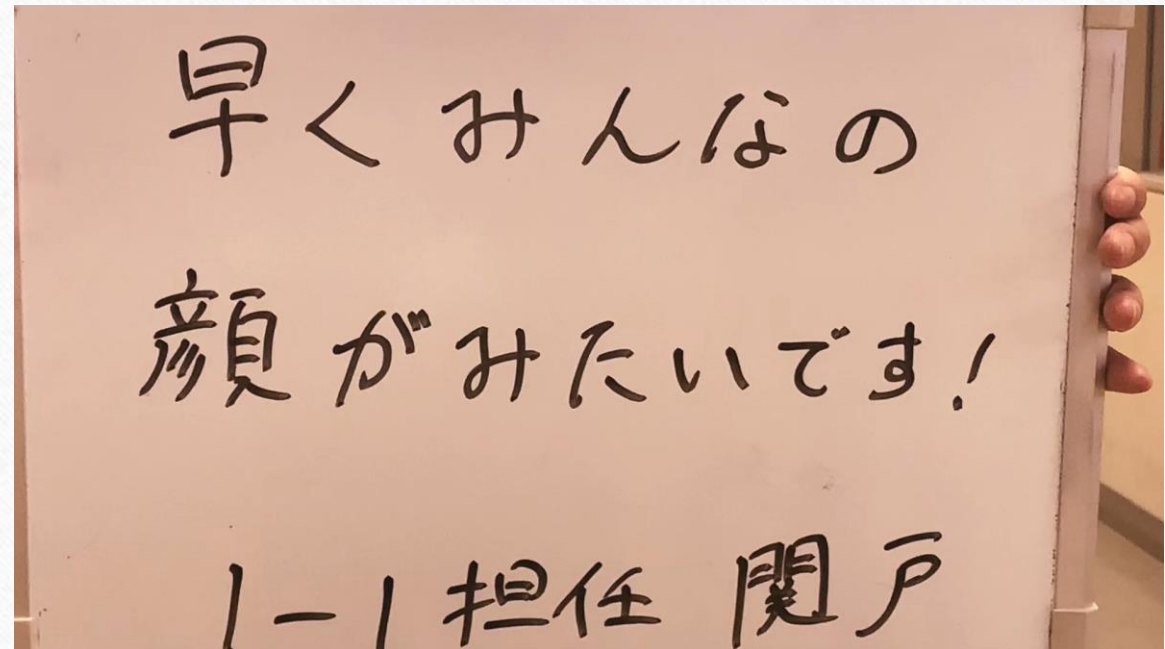
4月8日 始業式・入学式

- ・ 臨時休業が延長され、先行きの見えないなかで不安に
- ・ 新入生は友達も先生もわからないまま
- ・ 新入生との主な連絡手段は電話とホームページ（一方向）
- ・ 学習支援クラウドサービスの活用



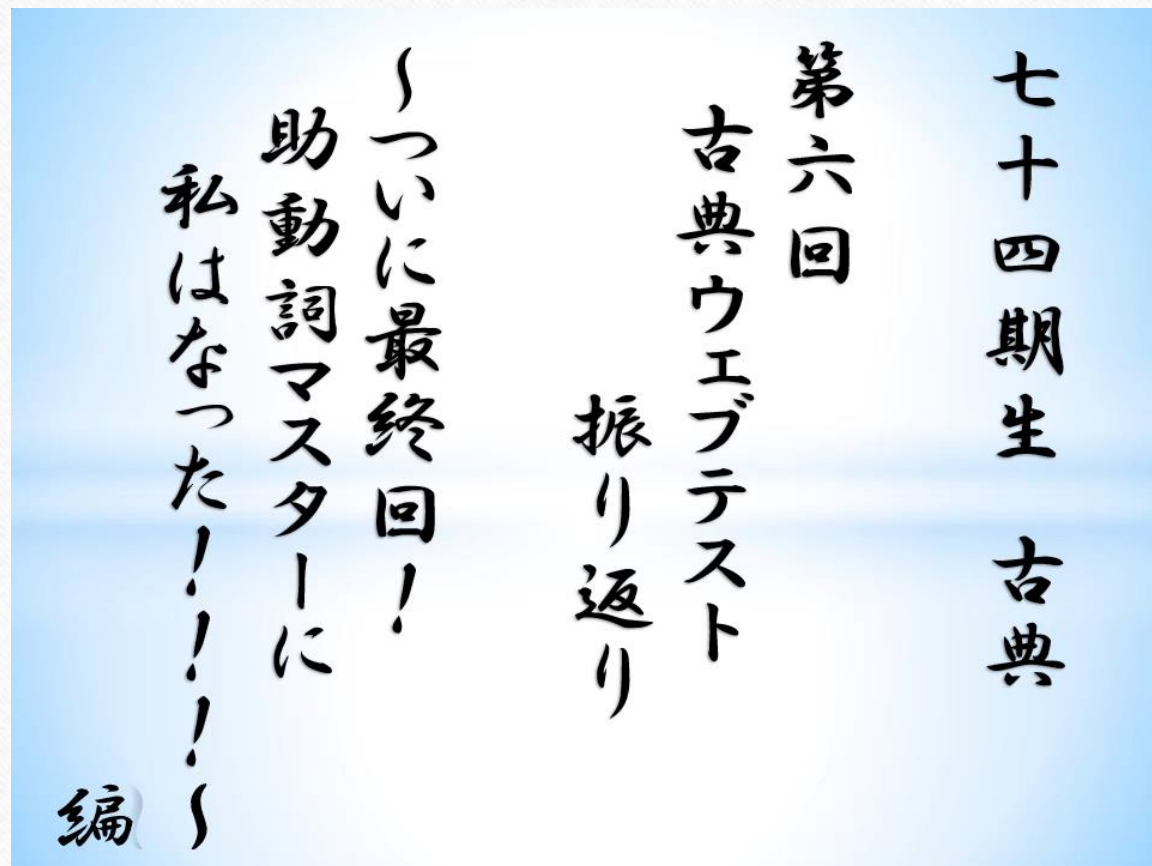
4月8日 始業式・入学式

- ・臨時休業が延長され、先行きの見えないなかで不安に
- ・新入生は友達も先生もわからないまま
- ・新入生との主な連絡手段は電話とホームページ（一方向）
- ・学習支援クラウドサービスの活用



学習支援(休校期間中)

- 課題の郵送
 - 時間割を設定し、学校HPで学習指示
 パワーポイントに音声録音
 YouTubeで授業配信
 ビデオ録画(解答解説の配信)
- ⇒ 1時間の動画を作成するのに膨大な時間がかかる
- ⇒ 携帯等の小さい画面でみる生徒は負担大



学校再開にあたって

- 分散登校の開始
- 授業日数の確保 ⇒ 休業日の短縮
⇒ 土曜授業の実施
- 学校行事（入学式、体育祭、文化祭、定期演奏会、修学旅行、卒業式など）実施形態等の変更を余儀なくされる

「あきらめない！」

「今できることを！」

第2波、第3波に備えて

- クラウド型教育用プラットフォームを導入し、平常時から少しずつ活用
- 教員に一人一台のChromebookを整備

令和3年度

これまでの経験から、そして一人一台端末の活用

新入生・在校生

- 3月の合格者説明会で学習支援クラウドサービス利用に必要なアカウント情報等の登録
⇒ **学校との繋がりを早期に確保**
- 出席停止（濃厚接触者 等）となるすべての生徒を対象に、Web会議システムを利用した授業配信や課題等の送受信を活用してオンライン学習の機会を提供



学校教育活動 ①

With コロナ

- 生徒一人一台端末の活用
学校教育自己診断
自治会役員選挙
人権学習、探究活動など



学校教育活動 ①

With コロナ

音楽科では

- ・ 感染リスクの高い活動「合唱」
- ・ 「0」ではなく、少しでも「+」に
- ・ 多重録音アプリを使って、美しいハーモニーを作る

「アンサンブルひとり」

- ⇒音楽におけるICTの利便性への気づき
- ⇒生演奏との違い、それぞれの良さを知り、これからの活動に生かす



画像提供: NHK

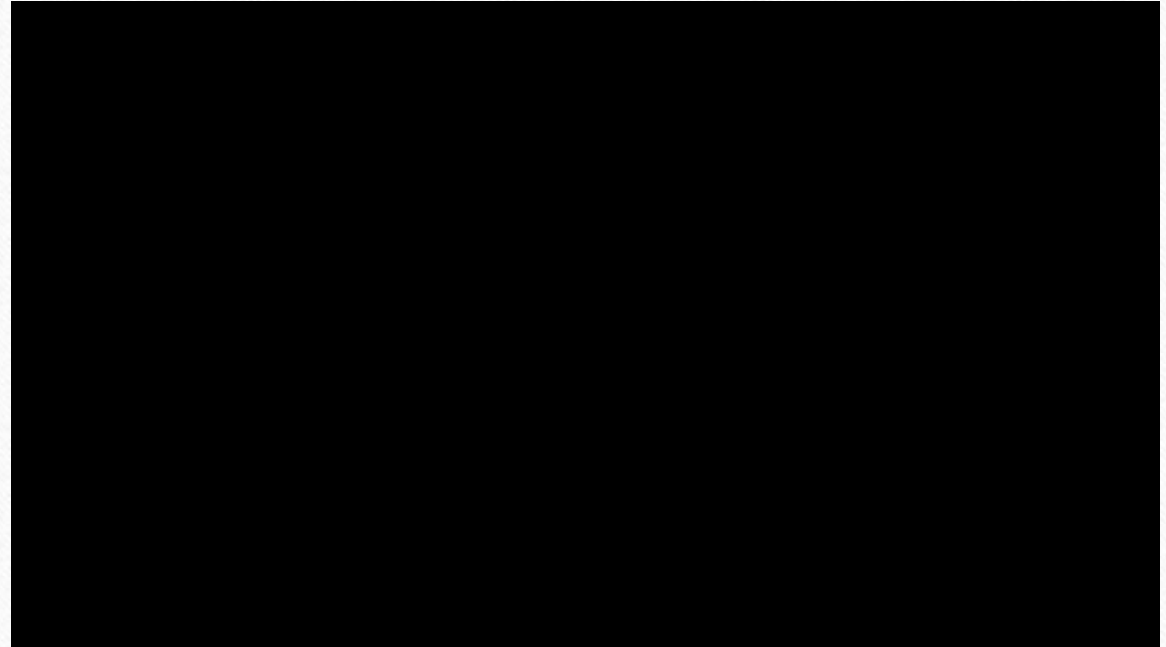
学校教育活動 ① With コロナ

音楽科では

- ・感染リスクの高い活動「合唱」
- ・「0」ではなく、少しでも「+」に
- ・多重録音アプリを使って、美しいハーモニーを作る

「アンサンブルひとり」

- ⇒音楽におけるICTの利便性への気づき
- ⇒生演奏との違い、それぞれの良さを知り、これからの活動に生かす



学校教育活動 ② With コロナ

生徒ICT委員会の立ち上げ

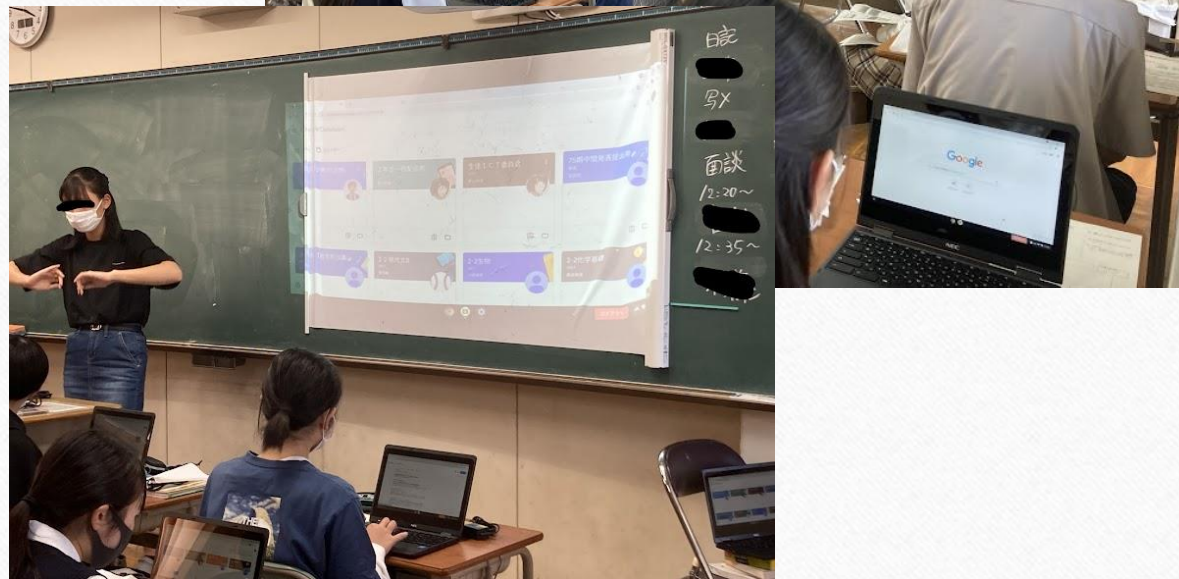
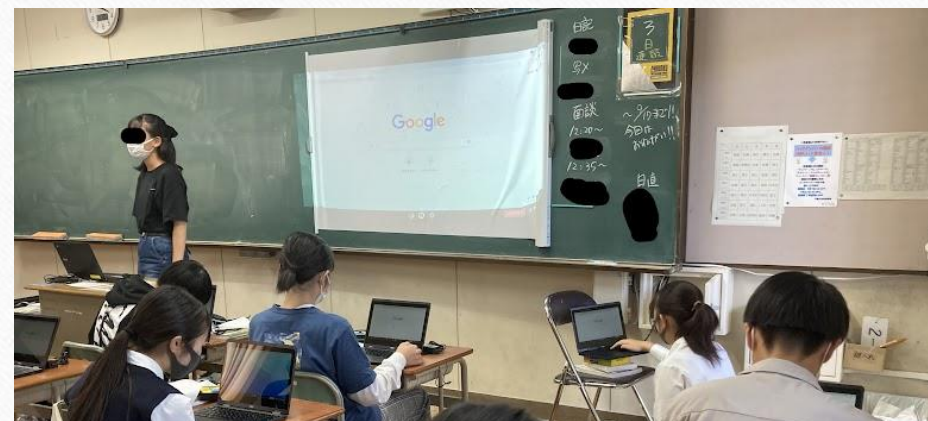
- ・ 端末活用を「主体的」に考える
ときには、教員の補助も！
- ・ 端末配付時には、委員が活躍

(生徒ICT委員 生徒アンケート結果より)

- ・ 役割にやりがいを感じていた生徒は

88.2%

- ・ 残り11.8%の生徒の多くは、
物足りなさを感じ、もっと積極的に
取り組みたかった・・・との意見



学校教育活動 ③ With コロナ

教員の意識改革

- ・ 教員一人一台の端末を活用
 - ペーパーレス職員会議
 - GoogleMeetを使って職員会議
 - ⇒ 発言者と参加者の両方を経験
(授業者と生徒の両方を経験)
 - ・ 長時間画面を見続ける疲労
 - ・ハウリング対策が必要
- ・ オンラインを活用して欠席連絡等の受付を実施
 - ⇒ 業務改善につながる

網代典子さんの画面が共有されています

（概要）児童生徒等及び教職員に感染者が確認された場合の基本的な対応 令和3年9月2日

学校による調査	学校の対応
<p>【学校による調査】</p> <p>感染が疑われる児童生徒の調査</p> <p>陽性者が確認された場合、濃厚接触者の候補を特定するとともに、陽性者と同じ学級や部活動に所属する全員をPCR検査対象者として保健所にリストを提出する</p>	<p>【学校の対応】</p> <p>検査の結果、陽性者が1人以上・学級等の閉鎖を2日間延長</p> <p>【学年閉鎖】</p> <p>複数の学年を閉鎖するなど、学年内で感染が広がっている可能性がある場合</p> <p>【学校全体の閉鎖休業】</p> <p>複数の学年を閉鎖することに加えて、閉鎖していない学級に感染が広がっているなど、学校内で感染が広がっている可能性がある場合</p> <p>検査の結果、陽性者がいない・学級等の再開</p> <p>※濃厚接触者は発症の日から14日行動制限</p>

検査候補者リスト作成の基準 ※リストの添付資料：基本情報（学校名）記入シート・行動履歴記入シート・把握票・・・等

濃厚接触者の候補	濃厚接触者選定の検査対象となる者の候補
<ul style="list-style-type: none"> ・長時間の接触があった者 ・密かな感染の疑いを感じていたり、感染者の熱湯に直接触れた可能性の高い者 ・手で触れることのできる距離で必要な感染予防策を怠り、感染者と15分以上の接触があった者 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者からの物理的な距離が近い、又は物理的な距離が離れていても接触 ・接触が長い者 ・（感染者と同一の学級の児童生徒等） ・大学を卒業後、研究や習い事などを行う活動に共にした者 ・（感染者と同一の部活動に所属する児童生徒等） ・感染者と食事の場や洗面所等の場を共有する生活を営んでいる者 その他、感染対策が不十分な環境で感染者と接触した者等

16:29 | hvqhqmeum

参加者一覧：網代典子、智郎、川崎智郎、岩三信、山田真理、哲弘、杉田、伊知子、上野あゆみ、他 45人



第6波への対応 (オンラインの活用)

- ・ 臨時休業発生後、速やかにオンラインを活用した取組みを実施（休業期間：1日）

(実施内容)

- ・ Web会議システムを利用したホームルーム
- ・ オンライン学習の実施



ご清聴ありがとうございました。
